

令和4年度 佐世保市立日宇中学校 学校評価報告

- ☆表の見方
- 評価は4段階評価。
 - 数値は12月に実施した学校評価アンケートのデータである。
 - 数値 **青色<7月実施より上がったもの>** **赤色<7月実施より下がったもの>**
 - **網掛け黄色は肯定値70%未満、4段階評価2.9以下のもの**
 - 学校関係者評価は、学校評議員会での評価

〇人づくり

学校関係者評価	自己評価	考 察
B	B	<ul style="list-style-type: none"> • 数値的には肯定値や評価が低い部分があるが、前回から向上しているところが多い。人間関係構築能力の育成は常に意識して指導しているが、楽しく登校できていると答えた肯定値が下がったことに危機感を持っている。課題は不登校傾向の生徒への対応と捉えている。

	番	質問事項	生徒	保護者	教職員	生徒	保護者	教職員
			肯定値	肯定値	肯定値	評価	評価	評価
人 づ く り	1	生徒は、好ましい友人関係があり、楽しく登校している。	89.6	89.2	96.8	3.4	3.3	3.1
	2	生徒は、夢（目標）をもち、そこへ向けて努力している。	73.7	64.4	77.4	3.0	2.8	2.9
	3	生徒は、社会のルールや学校のルールを守っている。	90.5	89.0	58.1	3.4	3.3	2.6
	4	学校は、子どもたちの間違った行動に対して、きちんと指導している。	91.8	82.6	96.8	3.5	3.0	3.4
	5	学校は、子どもの将来の進路や生き方について考える機会を設けている。	90.3	83.4	96.8	3.3	3.0	3.4
	6	保護者は、家庭でスマートフォンやゲーム等の使用についてルールを決めて守らせている。	76.6	62.4	22.6	3.1	2.7	2.3
	7	学校は、生徒の能力や努力を適切に評価し、自信を持たせようとしている。	83.7	77.0	100	3.2	2.9	3.2

学校評議員会から

- * 人づくりの土台は家庭である。家庭教育の充実も大切にしてほしい。
- * 生徒評価の肯定値が高いものが多いことはよいことである。
- * 保護者と子どもが家庭でお互いの夢や目標を語り合う場を持つことが大切である。
- * 昔は情報を得る手段は人であった。現在はコミュニケーションを取らなくても情報を入手できる。人づくりを考えると、スマートフォンが子どもに必要なのかを大人は考えてもいいのではないだろうか。

○学力づくり

学校関係者評価	自己評価	考 察
C	C	・授業に関する評価は、生徒評価が85%を超えており、わかる授業は実践できていると思われる。授業での学習内容の定着度を見取り、基礎基本の定着を図れるよう、授業改善にさらに取り組んでいく。また、定着を図る上で必要な家庭学習が習慣づいていないことが大きな課題である。

学 力 づ く り	番	質問事項	生徒 肯定値	保護者 肯定値	教職員 肯定値	生徒 評価	保護者 評価	教職員 評価
	8	生徒は、家庭学習の習慣が身に付いている。	55.6	45.7	32.3	2.7	2.5	2.3
	9	学校は、わかりやすい授業を工夫し、基礎・基本の定着を図っている。	88.5	74.1	100	3.3	2.8	3.3
	10	学校は、授業でICT機器を効果的に活用している。	83.6	74.7	90.3	3.1	2.8	3.1
	11	学校は、地域の自然・人材・文化などを学習に取り入れている。	72.4	71.5	74.2	2.9	2.8	3.0

学校評議員会から

- * 生徒の授業への評価において、肯定値が高いことに先生方の努力がうかがえる。
- * 学力の土台は、基本的な生活習慣である。家庭との連携が必要である。
- * 知的な好奇心を過剰なくらい提供する必要があると思うが、周りにその環境がない。
- * 社会教育の課題でもあり、子どもに良い影響を与える地域づくりを進めることも大切である。
- * 本物を見せれば、子どもは変わり、自分ごとにとできると教育活動から実感できる。
- * 学習面での目標を持たせることが大切である。大人はそれを引き出す、自覚させることが仕事である。そうすれば、子どもは自然に動き出す。

○体力づくり

学校関係者評価	自己評価	考 察
B	B	・6月に新体力テストで実施した朝食の有無の調査では「毎日食べる」76.4%、「時々食べない」18.9%、「食べない」4.7%であった。健康増進と学力向上のためにも生徒の意識を高めることと保護者への啓発が必要である。部活動は3年生の引退結果が数値に出ている。

体 力 づ く り	番	質問事項	生徒 肯定値	保護者 肯定値	教職員 肯定値	生徒 評価	保護者 評価	教職員 評価
	12	生徒は、「早寝・早起き・しっかり朝ご飯」の習慣化ができています。	76.6	72.4	54.8	3.2	3.0	2.6
13	生徒は、部活動に積極的に参加している。または、運動の習慣がある。	75.5	71.0	93.5	3.2	3.0	3.3	

学校評議員会から

- * 「早寝」は何時を考えているのか。中学生には無理があるのではないかと。睡眠時間を大切にする方がよいのではないかと。
- * 朝ごはんの習慣が気になる。しっかりと食べなければ勉強も運動も身につかない。また、衣食住をはじめとする生活習慣は、今後の人生に大きな影響を与えるため、保護者がしっかりとしてもらいたい。
- * 保護者の意識向上への啓発をお願いします。

○心づくり

学校関係者評価	自己評価	考 察
B-	B	・保護者の肯定値が1学期と比較して全5項目において下がったことをしっかりと受け止めなければならない。生徒も3項目で下がっており、言いたくても言えない、言っても変わらないといった思いがあるかもしれない。傾聴、協力、支え合いの姿勢を高めたい。

心 づ く り	番	質問事項	生徒 肯定値	保護者 肯定値	教職員 肯定値	生徒 評価	保護者 評価	教職員 評価
	14	生徒は、自分の良さを自覚し、それを伸ばそうと努力している。	69.7	67.7	77.4	2.9	2.8	2.9
	15	学校は、安全に気を配り、学習環境が整っている。	78.8	76.8	96.8	3.0	2.9	3.4
	16	学校は、道徳や人権教育、平和教育が推進され、人としての尊厳と責務を重んじる教育がなされている。	92.7	81.9	100	3.4	2.9	3.5
	17	学校は、生徒理解に努め、悩みや相談等に親身に対応している。	82.7	70.6	100	3.2	2.8	3.5
	18	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めている。	73.3	66.3	100	3.0	2.7	3.5

学校評議員会から

- *子どもたちは、コミュニケーション力が低くなっている。過保護になりすぎて、枠をとると自分一人で立ってられない子どもが増えている。大人は子どもが不都合の中でどう生活していくかを学ばせる必要がある。
- *子どもたちは、ことばへの興味関心が低くなっている。ことばから安心感を得られる環境をつくる必要がある。ことばを大切にすることを意識してもらいたい。
- *自分さえよければという風潮がある。子どもたちには、視野を広く持たせる必要がある。
- *学校と家庭で「ありがとう（感謝）」「こめんね（反省）」キャンペーンをしてはどうか。

○地域づくり

学校関係者評価	自己評価	考 察
B+	B	・コロナ禍ではあったが、感染予防を講じながら学校行事や授業参観、PTA行事を進めてきた。しかし、学級閉鎖もあり、参加したくても遠慮した保護者もあったと考える。しかし、数値の低下はしっかり受け止め、特色ある学校づくりに努めていく。

	番	質問事項	生徒 肯定値	保護者 肯定値	教職員 肯定値	生徒 評価	保護者 評価	教職員 評価
地 域 づ く り	19	保護者は、授業参観や学校行事、PTA活動に積極的に参加している。	69.7	64.0	67.7	2.9	2.7	2.8
	20	学校は、学校の方針や生徒たちの様子を学校だよりやホームページ等で伝え、特色ある教育活動を行っている。	87.6	88.2	100	3.3	3.1	3.6
	21	学校は、ふるさとを大切にする子どもを育てようとしている。	84.3	73.3	83.9	3.2	2.8	3.2

学校評議員会から

- * ホームページは、他校と比較しても情報発信が多く、市内トップクラスである。
- * 地域との交流はできており、連携もあると認識している。
- * 連絡メールの発信もさらによくなっている。
- * 民生児童委員連絡協議会で学校だよりを配付していることは、民生委員の間でも高評価である。